

事務事業分析シート（令和8年度）										No1
事務事業コード		10-04-01			戦略プラン		☒ 協働 ☐ 業務 ☐ 財務 ☐ 人事			
事務事業名		荒川遊園管理運営費			部課名		産業経済部荒川遊園課		課長名	
					担当者名		大淵		内線	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（8年度）		01-01-01			荒川遊園管理費					
		01-02-01			荒川遊園事業費					
		01-03-01			荒川遊園営繕費					
事務事業の種類		☐ 新規事業（ ☐ 8年度 ☐ 7年度）			☐ 建設事業		☒ それ以外の継続事業			
開始年度		昭和 25（ 1950 ）年度			根拠		都市公園法			
終期設定		☐ 有 ☒ 無（ ）年度			法令等		荒川区立公園条例及び同条例施行規則			
実施基準		☐ 法令基準内 ☐ 都基準内 ☒ 区独自基準			計画区分		☒ 計画 ☐ 非計画			
行政評価事業体系		分野		Ⅱ		子育て教育都市				
		政策		03		子育てしやすいまちの形成				
		施策		01		多様な子育て支援の展開				
目的		東京都唯一の公立遊園地として、様々なアトラクションやイベント等により、荒川区内外の人々が安全に楽しめる施設を目指した管理・運営を行うことで、魅力ある観光施設としての価値を高めるとともに、地域の活性化を図っていく。								
対象者等		子育て家庭を中心としながら、幅広い世代を対象とする。荒川区民はもとより、区外からの集客にも積極的に取り組んでいく。								
内容		【荒川遊園の概要】 総面積54,416㎡ A地区…31,466㎡（有料地区）、B地区…5,234㎡（子どもプール<5年度で廃止>）、 C地区…14,141㎡（地下駐車場）、D地区…3,575㎡（荒川遊園拡張地） 【事業の内容】 ①あらかわ遊園の管理運営 大型遊戯施設、小型遊具、ふわふわドーム、わくわくハウス（わくわくパーク・売店）、もぐもぐハウス（売店）、一球さん号（売店）、釣堀、動物広場、下町都電ミニ資料館 水あそび広場、しばふ広場、アリスの広場等 ②都市公園維持管理等 都市公園としての荒川遊園全域の維持管理等								
経過		平成 3年4月 全面リニューアルオープン 平成18年4月 A C Cを荒川遊園の指定管理者として指定 平成23年4月 荒川区子育て支援部荒川遊園課による管理運営開始 平成29年4月～ 荒川遊園改修基本計画・基本設計 平成30年12月～ リニューアル工事着手のため一時休園 令和4年4月 リニューアルオープン 令和4年10月 夜間開園及びイルミネーション開始 令和5年10月 荒川遊園D地区整備方針計画策定 令和6年6月 老朽化により子どもプール廃止（公園条例改正） 令和6～7年 D地区整備基本設計・実施設計 令和8年度～ D地区整備工事								
必要性		荒川遊園は都内で唯一の公立の遊園地であり、安全で安心して楽しく利用できる施設を目指すとともに、子育て支援の拠点施設として、また併せて区の貴重な観光資源の一つとして活用するため、必要性は高い。								
実施方法		（ ☐ 一部委託 ） （ 直営の場合 ☐ 常勤職員 ☐ 会計年度任用職員 ） 委託業務：遊戯施設等運営・保守・入園案内、動物飼育、地下駐車場管理運営、清掃、浄化施設管理 管理許可：売店								
指標	事務事業の成果とする指標名			指標の推移					指標に関する説明	
				5年度	6年度	7年度	8年度見込み	目標値(8年度)		
	①	入園者数（人）	403,956	396,795	373,968	404,731	500,000	30年12月から4年3月まで休園 4年4月再オープン		
	②	来園者満足度（%）	84.1	86.7	85.4	85.4	85	園内アンケートで5段階の内「満足」「やや満足」を選んだ割合		
③										
事務事業の分類				分類についての説明・意見等						
8年度		9年度								
重点的に推進		重点的に推進		荒川区の子育て支援の拠点施設であるとともに、区の重要な観光資源の一つであり、荒川遊園の管理運営は重要である。						

予算・決算額等の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
予算額		1,376,535	2,012,770	641,513	736,848	699,791	936,732	1,200,210
決算額（8年度は見込み）		1,304,269	1,993,747	565,494	657,464	652,223	841,360	1,200,210
実績 の 推 移	事項名（8年度は見込み）	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	入園者数（総数[人]）	—	—	385,937	403,956	396,795	373,963	404,731
	子どもプール（人）	—	—	14,405	22,950	—	—	—
	遊戯施設利用者数（人）	—	—	1,874,093	1,915,293	1,941,402	1,807,256	1,980,000

予算・決算の内訳								
令和6年度（決算）			令和7年度（決算）			令和8年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	都電ミニ資料館、陶芸教室、工作教室	3,451	報償費	都電ミニ資料館、陶芸教室、工作教室	3,624	報償費	都電ミニ資料館、陶芸教室、工作教室	4,025
需用費	光熱水費、食糧費、一般需用費	50,176	需用費	光熱水費、食糧費、一般需用費	45,287	需用費	光熱水費、食糧費、一般需用費	46,688
需用費	園内設備小破修繕	8,689	需用費	園内設備小破修繕	4,712	需用費	園内設備小破修繕	34,841
使用料	AED、券売機、車、小型遊具リース	20,226	使用料	AED、券売機、車、小型遊具リース	16,989	使用料	AED、券売機、車、小型遊具リース	17,702
委託料	清掃、樹木管理、地下駐車場管理	158,153	委託料	清掃、樹木管理、地下駐車場管理	157,097	委託料	清掃、樹木管理、地下駐車場管理	181,026
委託料	遊戯施設運営、動物飼育管理	367,744	委託料	遊戯施設運営、動物飼育管理	407,178	委託料	遊戯施設運営、動物飼育管理	385,190
工事請負費	フェンス設置工事、受変電施設改修	19,927	工事請負費	プール解体、地下駐車場昇降機改修	168,450	工事請負費	D地区整備、地下駐EV改修	497,330

(単位：千円)										
行政コスト計算書	勘定科目		6年度	7年度	差額	勘定科目		6年度	7年度	差額
	行政費用	給与関係費	26,661	32,245	5,584	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	611,103	628,909	17,806		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	8,768	11,422	2,654		都支出金	0	3,490	3,490
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	4,989	3,655	▲ 1,334		使用料及び手数料	456,282	432,943	▲ 23,339
		減価償却費	266,959	265,361	▲ 1,598		その他	3,280	3,347	67
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	459,562	439,780	▲ 19,782
		賞与・退職給与引当金繰入額	5,136	11,900	6,764		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 466,003	▲ 688,124	▲ 222,121
		その他行政費用	1,949	174,412	172,463		金融収支差額(d)	2	2	0
		行政費用合計(b)	925,565	1,127,904	202,339		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 466,001	▲ 688,122	▲ 222,121
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 466,001	▲ 688,122	▲ 222,121		

備考 物件費は、主に遊戯施設等運営業務委託、清掃業務委託、動物飼育等管理運営委託、光熱水費に要した費用で、人件費高騰等の影響の他、子どもプール解体工事に伴う物品廃棄処理委託契約を行ったため増となった。行政収入では、入園料等は減となったが、園内での番組撮影時などに徴収する公園占用料は増となった。

問題	①入園者数の減少に伴い歳入が減少する傾向にある一方、安全・衛生を基本とした管理運営を確保するための経費を要することから、収支バランスの改善が課題となっている。
----	---

②入園者数の増を図るため、SNS等を活用した積極的な広報の強化、魅力あるイベントの実施、年間パスポート等の区民向けサービスの周知の工夫を行っていく必要がある。

課題	
問題点・課題の改善策	

	令和7年度に取り組む 具体的な改善内容	令和7年度に実施した 改善内容および評価	令和8年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	徹底した安全管理と清潔な環境を整備することで、安心して子どもが遊べる遊園地を維持できるよう、引き続き努める。	来園者からは清潔な園内環境について高評価を受けている。安全については最優先事項として遊園地の運営を行った。	収支改善に向け、SNSを活用し積極的な広報を行い、キッチンカーの誘致等も含め魅力的なイベントを開催し来園者の増加を図る。
②	アンケート等来園者からの声を園内全事業者と共有し、随時改善を図ることで、より良い接遇に努める。	園内事業者と来園者からの意見等を共有し、接遇をはじめとしたサービスや環境の改善を図った。	業務委託内容の徹底的な確認や物品調達効率化など、あらゆる経費について点検を進めていく。
③			

他 施 状 況	（実施	0	区	未実施	22	区	不明	0	区）
	東京都唯一の公立遊園地								

況 議 会 質 問 状 (要旨)	【令和6年度2月会議】	経営課題の整理と実行計画の策定、管理を
	【令和7年度6月会議】	持続可能な運営を
	【令和7年度9月会議】	収支バランスに向けた施策を
	【令和7年度11月会議】	さらなるイベントの実施を
	【令和8年度6月会議】	①収支改善と区民サービスの向上 ②収支改善に向けたロイヤルティ向上などについて